

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

- 1 総論
- 2 全体の概念図
- 3 施策体系
- 4 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)、個別事業

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

1 総論

策定の方向性

- ・基本目標の維持
- ・「第2期」総合戦略の進捗状況や社会生活の変化を勘案、本市の現状、課題を整理

⇒ **3つの「地域ビジョン」**
(目指すべきまちのすがた)と
その実現に向けた
「重点的取組事項」を
位置付け

人口ビジョン (第3版)

- ・将来人口推計
- ・市民アンケート

- ・人口の状況を分析
- ・結婚・出産・進学・仕事等に関する意識を分析

市民希望出生率 1.74

目標人口

- 1 中長期
2070年に32万人
- 2 超長期
**2100年以降も
30万人を維持を
目指す**

基本理念

コンパクトシティ政策の深化による、
人口減少社会に適応する都市のリノベーションと、
個人・企業の成長・潤いの実感

- ① 中期的な視点では人口減少の「緩和」、長期的な視点では人口の「定常化」を目指す
- ② これまで進めてきた「コンパクトシティ政策」に、デジタルの力を活用した「スマートシティ政策」を融合するなど、これまでの取組をさらに深化させ、都市の仕組みを人口減少社会に「適応」させることを目指す
- ③ 多様な資源を生かし、労働生産性の向上による経済活動の維持・発展や市民所得、付加価値の向上といった「都市の生産性」を高めるとともに、誰一人取り残されることなく、日常の暮らしの中で、成長や潤いを実感できる都市を目指す

計画期間

令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間

地域ビジョン(目指すべきまちのすがた)と 実現に向けた重点的取組事項

地域ビジョン1:定常化／緩和／量【ひと】

ライフステージを通じた個人の希望の実現が、人口減少の緩和・定常化にツナガル。

【地域ビジョンの実現に向けた重点的取組事項】

- (1) 若年世代の「実質所得の向上」、女性が魅力と感じられる「雇用機会の創出・質の改善・発信」
- (2) 結婚・妊娠・出産・子育て期の一貫した「伴走支援」、社会全体で子育て・介護を支え、現在市民が将来市民に地域社会を継承していく「市民意識の共有」
- (3) 個別アプローチにより、「関係人口」から、「二地域居住」や「移住」を促進

地域ビジョン2:強靱化／適応／質【しごと】

「人・企業・地域」への投資が、「都市の成長(生産性)」にツナガル。

【地域ビジョンの実現に向けた重点的取組事項】

- (1) 地域と一体となった「良質な子育て・教育環境の構築」、「共助」と多様な担い手による「地域コミュニティの再生」
- (2) 行政・地域課題の解決を中堅・中小企業の「成長のエンジン」とすることによる、「都市の持続可能性の向上」
- (3) 中堅から中小企業へのDX、GXの面的展開や、多様な人材の多様な働き方による、「労働生産性・炭素生産性の向上」と「人材不足の解消」

地域ビジョン3:幸せ日本一／潤い／心【まち】

「個人の多様な選択」と「都市の選択と集中」の両立が、「安心・潤い」の実感にツナガル。

【地域ビジョンの実現に向けた重点的取組事項】

- (1) 市域のどこに住んでいても、安全・安心で潤いを感じられる「地域防災力とレジリエンスの強化」
- (2) ファシリティマネジメントや「選択と集中」により、持続可能性を高める「都市のリノベーション」
- (3) 「日常の生活エリア」ごとの、「身近な生活関連サービスの確保」と「交流・潤いの創出」

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

2 全体の概念図

理念

コンパクトシティ政策の深化による、人口減少社会に適応する都市のリノベーションと、個人・企業の成長・潤いの実感

地域ビジョン

- 1 ライフステージを通じた個人の希望の実現が、人口減少の緩和・定常化にツナガル。
[定常化/緩和/量] 【ひと】
- 2 「人・企業・地域」への投資が、「都市の成長(生産性)」にツナガル。
[強靱化/適応/質] 【しごと】
- 3 「個人の多様な選択」と「都市の選択と集中」の両立が、「安心・「潤い」の実感にツナガル。
[幸せ日本一/潤い/心] 【まち】

基本目標

1 産業活力の向上により、安定した雇用を創出する

2 交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる

3 生活環境の一層の充実を図る

4 持続可能な都市経営・まちづくりを推進する

分野横断的な視点

(1) 富山市版スマートシティの実現
(コンパクト&スマートシティ)

(2) こどもまんなか社会の実現
(子育て日本一とやま)

(3) 誰一人取り残さない、
持続可能な都市の実現
(SDGs未来都市TOYAMA)

施策

具体的な
施策

具体的な
施策

具体的な
施策

具体的な
施策

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

3 施策体系

基本目標	数値目標	具体的な施策
基本目標1 産業活力の向上により、安定した雇用を創出する ～地方の中核を担う都市として躍動するまち～	●経済構造実態調査における年間製造品出荷額等 ：15,207億円（R5年）→16,142億円（R11年） ●富山市内における雇用保険被保険者数 ：172,382人（R5年度）→173,000人（R11年度） ●富山市内における正社員の有効求人倍率 ：1.31倍（R5年度）→1.31倍（R11年度）	(1)中小企業等の振興及び既存産業の高付加価値化 新(2)中小企業等のDX・GX促進による生産性向上 【重点】 (3)公民連携による地域経営と新たなビジネス機会の創出 【重点】 (4)農林水産業の成長産業化 (5)サービス産業の高付加価値化と「稼ぐ力」の向上 (6)多様な人材の多様な働き方による労働力の確保 【重点】 新(7)若年世代の実質所得の向上 新(8)若者や女性にとって魅力的な雇用機会の創出 （企業・オフィス誘致の促進を含む） 【重点】 新(9)若者や女性に選ばれる雇用環境の整備 新(10)若者や女性に向けた雇用情報の発信強化 (11)高等学校・大学等との連携強化
基本目標2 交流・定住を促進し、富山市への新しい人の 流れをつくる ～選ばれるまち～	●人口の社会増〔転入-転出〕 ：4,272人（H27-R6年度）,年平均475人→2,500人（R7-11年度累計） ●移住者数（移住相談窓口を通じた県外からの移住者数） ：203人（R5年度）→1,500人（R7-11年度累計） ●マルチハビテーションの推進 （富山市マルチハビテーション推進事業の補助を受けた件数） ：1件（R5年度）→5件（R7-11年度累計） ●交流人口（観光客入込数） ：597万人（R5年）→821万人（R11年） ●県内大学卒業生の県内就職率 ：44.7%（R5年度卒業生）→50%（R11年度卒業生） ●県内高校出身の県外大学生のUターン就職率 ：57.9%（R5年度卒業生）→60%（R11年度卒業生）	(1)関係人口へのアプローチによる二地域居住や移住の推進 【重点】 (2)広域型観光の推進と外国人観光客の誘致 (3)地域資源のブラッシュアップによる高付加価値化 (4)シティプロモーションの推進 (5)シビックプライドの醸成 (6)若者や女性に向けた雇用情報の発信強化（再掲） (7)高等学校・大学等との連携強化（再掲）
基本目標3 生活環境の一層の充実を図る ～すべての世代が安心して暮らせるまち～	●合計特殊出生率：1.38（R5年）→1.57（R11年） ●健康な高齢者の割合 （65歳以上の高齢者で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない人の割合） ：前期高齢者95.7%、後期高齢者68.2%（R5年度） →前期高齢者96%以上維持、後期高齢者68%以上維持（R7-11年度） ●保育二歳の充足 ：待機児童ゼロ（R6年度）→待機児童ゼロ（R7-11年度） ●町内会加入率：82.4%（R5年度）→82.4%以上（R11年度） ●公民館利用者数：452,940人（R5年度）→514,000人（R11年度） ●自主防災組織の組織率：75.8%（R5年度）→80%（R11年度）	(1)結婚・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援の充実 【重点】 (2)ワーク・ライフ・バランスの実現 (3)地域包括ケアシステムの構築 (4)健康都市の実現 (5)歩きたくなるまちづくりの推進 新(6)地域とともに子育て・教育に取り組む環境づくり 新(7)社会全体で子育て・介護を支える市民意識の醸成 新(8)「共助」体制の構築と地域コミュニティの活性化 【重点】 (9)地域防災力と地域レジリエンスの強化 【重点】
基本目標4 持続可能な都市経営・まちづくりを推進する ～公共交通を軸としたコンパクトなまち～	●沿線居住（公共交通が便利な地域に住む）人口の割合 ：40.0%（R5年度）→42.0%（R8年度） ●中心市街地における人口の社会増〔転入-転出〕 ：2,356人（H18-R5年度）,年平均139人→650人（R7-11年度累計） ●公共交通が便利な地域周辺に住んでいる市民の公共交通利用率 ：42.2%（R5年度）→42.2%（R11年度） ●富山駅周辺地区の歩行者数 ：平日30,188人／日、日曜26,328人／日（R5年度） →平日40,000人／日、日曜32,000人／日（R11年度） ●中心商業地区の歩行者数 ：日曜18,521人／日（R5年度）→日曜18,521人／日（R11年度） ●温室効果ガス排出量の削減割合 ：496万t-CO2（H25年度排出量）→37.9%削減（R9年度）	(1)公共交通と中心市街地の活性化 (2)中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導 新(3)「日常の生活エリア」における拠点の形成と交流・潤いの創出 【重点】 (4)既存施設のマネジメント強化 (5)連携中枢都市圏の連携強化 (6)歩きたくなるまちづくりの推進（再掲） (7)公民連携による地域経営と新たなビジネス機会の創出 【重点】 （再掲）

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

4 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)、個別事業

＜基本目標1＞産業活力の向上により、安定した雇用を創出する ～地方の中核を担う都市として躍動するまち～

具体的な施策	主なKPI(基準値→令和11年度の目標値)	主な個別事業
(1) 中小企業等の振興及び既存産業の高付加価値化	・「富山市創業支援等事業計画」に位置付けた創業支援等により創業した事業者数 :200者／年(令和元～5年度平均)→1,000者(令和7～11年度累計)	ベンチャー企業等支援事業／商工業振興資金等貸付事業／創業支援セミナーの開催
新(2) 中小企業等のDX・GX促進による生産性向上 【重点】	・チームとやまし参加事業所数 :434チーム(令和5年度末累計)→540チーム(令和11年度末累計)	企業向けゼロカーボン推進事業
(3) 公民連携による地域経営と新たなビジネス機会の創出 【重点】	・SCRUM-Tへの参画企業数 :160社(令和5年度末累計)→210社(令和11年度末累計) ・学校跡地を活用した新たな事業の創出件数 :新規→5件(令和7～11年度累計)	スマートシティ推進事業／未来共創推進事業／富山市センサーネットワーク利活用推進事業／オープンデータの活用推進事業／企業版ふるさと納税促進事業／官民連携推進事業／学校跡地活用事業
(4) 農林水産業の成長産業化	・主要高収益作物(野菜3品目:キャベツ、たまねぎ、にんじん)栽培面積 :27.8ha(令和6年度)→30.6ha(令和11年度) ・農林水産物Web販売支援事業で商品化した商品点数 :新規→150点(令和7～9年度累計)	富山で農林水産業事業／スマート農業支援事業／農林水産物プロモーション推進事業／農林水産物Web販売支援事業
(5) サービス産業の高付加価値化と「稼ぐ力」の向上	・中心商業地区の歩行者数 :18,521人/日(日曜)(令和5年度)→18,521人/日(日曜)(令和11年度)	AIカメラ等によるスマートプランニング事業
(6) 多様な人材の多様な働き方による労働力の確保 【重点】	・新たに障害者雇用奨励金を支給した障害者数 :25人(令和5年度)→125人(令和7～11年度累計)	雇用機会の拡大のための企業訪問／障害者雇用推進事業／福祉人材確保対策事業／多様な働き方推進事業／オフィス開設支援事業
新(7) 若年世代の実質所得の向上	・日本学生支援機構の奨学金代理返還を行う企業数 :1社(令和5年度)→25社(令和7～11年度累計)	奨学金代理返還支援事業／雇用機会の拡大のための企業訪問(再掲)
新(8) 若者や女性にとって魅力的な雇用機会の創出(企業・オフィス誘致の促進を含む) 【重点】	・空き事務所などの物件情報マッチングサイトにおける成約件数 :9件(令和6年度(10月現在))→65件(令和7～11年度累計)	企業誘致対策事業／企業立地奨励事業／若者が魅力を感じる企業誘致推進事業
新(9) 若者や女性に選ばれる雇用環境の整備	・模範的な取組を行う企業に対する表彰数 :新規→10者(令和7～11年度累計) ・女性活躍環境づくり推進助成金交付件数 :6件(令和5年度)→30件(令和7～11年度累計)	社会課題の解決などに向けた模範的な取組を行う企業の表彰((仮称)グッドアクションカンパニー大賞)／女性活躍環境づくり推進事業
新(10) 若者や女性に向けた雇用情報の発信強化	・合同企業説明会の参加企業数 :168社(令和5年度)→1,200社(令和7～11年度累計) ・合同企業説明会の参加者数の内、県外大学生が占める割合 :37.5%(令和6年8月開催時)→50%(令和11年度)	若年者就職支援事業／UIJターン就職活動交通費補助事業／多様な働き方推進事業(再掲)／ライフスタイルBOOK制作事業
(11) 高等学校・大学等との連携強化	・高等学校・大学等と連携した授業・講演会の開催 :20回(令和元～5年度累計)→30回(令和7～11年度累計) ・大学と連携したイベント等の開催数 :3回(令和5年度)→25回(令和7～11年度累計)	高等教育機関との連携事業／UIJターン就職意識醸成事業

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

4 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)、個別事業

＜基本目標2＞ 交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる ～選ばれるまち～

具体的な施策	主なKPI (基準値→令和11年度の目標値)	主な個別事業
(1) 関係人口へのアプローチによる二地域居住や移住の推進【重点】	・「みらい市民パスポート」発行枚数 : 新規→5,000件(令和7～11年度累計) ・移住セミナー及び体験ツアー参加者数 : 37人(令和6年度)→300人(令和7～11年度累計)	移住者受入促進事業／UIターン就職意識醸成事業(再掲)／はたちの集いを契機とする若者ネットワーク構築事業／みらい市民パスポート事業／空き家情報バンク／ふるさと回帰リフォーム等補助事業
(2) 広域型観光の推進と外国人観光客の誘致	・市内宿泊施設外国人延べ宿泊者数 : 90,682人(令和5年度)→158,000人(令和11年度)	観光客誘致宣伝事業／外国人観光客誘致宣伝事業／滞在型観光連携事業／コンベンション開催支援事業
(3) 地域資源のブラッシュアップによる高付加価値化	・富山市ガラス美術館ショップのガラス関連商品売上高 : 37,675千円(令和5年度)→125,000千円(令和7～11年度累計) ・おわら風の盆入込者数 : 150,000人(令和6年度)→200,000人(令和11年度) ・市総合体育館利用者数 : 458,264人(令和5年度)→500,000人以上(令和11年度)	ガラスの街づくり推進事業／おわら風の盆・地域活力強化事業／伝統芸能・舞台芸術・ダンスの融合による価値向上事業／富山市総合体育館Rコンセッション事業
(4) シティプロモーションの推進	・X、Instagram、WEB広告等による富山市から発信する情報の閲覧・投稿数 : 440,000人(令和5年度)→2,266,887人(令和7～11年度累計)	選ばれるまちづくり事業(シティプロモーション)／「それって富山市!？」プロモーション事業／WEBターゲティングプロモーション事業
(5) シビックプライドの醸成	・AMAZING TOYAMAフォトプロジェクト、Instagram等によるシビックプライド醸成事業への主体的参加者数 : 9,815人(令和5年度)→49,075人(令和7～11年度累計) ・富山市民であることに愛着や誇りを感じている人の割合 : 61.5%(令和5年度)→74.0%(令和11年度)	選ばれるまちづくり事業(シビックプライド醸成)／ライフスタイルBOOK制作事業(再掲)
(6) 若者や女性に向けた雇用情報の発信強化(再掲)		
(7) 高等学校・大学等との連携強化(再掲)		

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

4 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)、個別事業

<基本目標3> 生活環境の一層の充実を図る ～すべての世代が安心して暮らせるまち～

具体的な施策	主なKPI (基準値→令和11年度の目標値)	主な個別事業
(1) 結婚・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援の充実【重点】	・妊娠子育て応援企業数 :176社(令和5年度末累計)→200社(令和11年度末累計) ・妊娠・出産について満足している者の割合 :91.8%(令和5年度)→100%(令和11年度) ・富山市育さばとやまアクセス件数 :35,148件(令和5年度)→200,000件以上(令和7～11年度累計)	切れ目ない子育て支援体制構築事業／地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター等)／市立保育所・認定こども園ICT化推進事業／地域児童健全育成事業／放課後児童健全育成事業／地域コミュニティ再構築支援事業
(2) ワーク・ライフ・バランスの実現	・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた要請を行った訪問企業数 :25社(令和5年度)→125社(令和7～11年度累計) ※毎年訪問先を適宜見直すことで、効果的に企業に働きかける。	雇用機会の拡大のための企業訪問(再掲)／若者が魅力を感じる企業誘致推進事業(再掲)／女性活躍環境づくり推進事業(再掲)
(3) 地域包括ケアシステムの構築	・[まちなか総合ケアセンター]産後ケア応援室 宿泊・デイケア利用実人数 :231人(令和5年度)→1,300人(令和7～11年度累計) ・[まちなか総合ケアセンター]医療介護連携室 医療介護相談・支援者数 :656人(令和5年度)→3,300人(令和7～11年度累計)	まちなか総合ケアセンターの運営／総合相談事業(地域包括支援センター)／切れ目ない子育て支援体制構築事業(再掲)／孫とおでかけ支援事業
(4) 健康都市の実現	・健康であると感じる市民の割合 :79.1%(令和6年度)→79.1%以上(令和11年度) ・健康な高齢者の割合(65歳以上の高齢者で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない人の割合) :前期高齢者95.7%、後期高齢者68.2%(令和5年度) →前期高齢者:96%以上を維持、後期高齢者:68%以上を維持(令和7～11年度)	健康づくり推進事業／富山市健康づくり拠点整備事業
(5) 歩きたくなるまちづくりの推進	・富山駅周辺地区の歩行者数 :平日30,188人/日、日曜26,328人/日(令和5年度) →平日40,000人/日、日曜32,000人/日(令和11年度)	歩くライフスタイル推進事業／AIカメラによるスマートプランニング事業(再掲)／公園整備事業(呉羽丘陵フットパス)
新(6) 地域とともに子育て・教育に取り組む環境づくり	・民間団体における「こどもの居場所」の新規開設に伴う補助件数 :新規→3件(令和7～11年度累計)	こどもの居場所づくり支援事業／不登校対策事業(メタバース活用事業)／コミュニティ・スクール事業
新(7) 社会全体で子育て・介護を支える市民意識の醸成	・子どもや子育てにやさしい取組の市への報告件数 :9件(令和5年度)→50件(令和7～11年度累計)	こどもまんなか推進事業／重層的支援体制整備事業／地域ふれあい活動支援事業(地域食堂(こども食堂))
新(8)「共助」体制の構築と地域コミュニティの活性化【重点】	・移住者受入モデル地域の指定 :新規→3地域(令和7～11年度末累計)	地域コミュニティ再構築支援事業(再掲)／電子回覧板導入支援事業／元気な中山間地域づくり支援事業／移住者受入モデル地域育成支援事業
(9) 地域防災力と地域レジリエンスの強化【重点】	・自主防災組織の組織率 :75.8%(令和5年度)→80%(令和11年度)	避難所開設・運営における施設開錠方法等の体制強化事業／自主防災組織育成事業／地域防災力の強化事業

「第3期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の概要

4 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)、個別事業

＜基本目標4＞持続可能な都市経営・まちづくりを推進する ～公共交通を軸としたコンパクトなまち～

具体的な施策	主なKPI(基準値→令和11年度の目標値)	主な個別事業
(1) 公共交通と中心市街地の活性化	・グランドプラザ年間稼率(専用使用) : 59.6%(令和5年度)→100%(令和11年度) ・ウエストプラザ年間稼働率(専用使用) : 18.6%(令和5年度)→30%(令和11年度)	まちなか賑わい広場等運営事業／ 大型商業施設等誘致事業／ AIカメラ等によるスマートプランニング事業(再掲)
(2) 中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導	・まちなか居住推進事業補助金交付件数(戸数) : 182戸(令和5年度)→500戸(令和7～11年度累計) ・公共交通沿線居住推進事業補助金交付件数(戸数) : 54戸(令和5年度)→150戸(令和7～11年度累計)	まちなか居住推進事業／公共交通沿線居住推進事業／ 富山地方鉄道鉄道線活性化に伴うまちづくり効果等の 検討事業
新(3)「日常の生活エリア」における拠点の形成と交流・潤いの創出【重点】	・公共交通空白地域人口率 : 1.9%(令和5年度)→2.0%(令和11年度) ・公共交通が便利な地域周辺に住んでいる市民の公共交通利用率 : 42.2%(令和5年度)→42.2%(令和11年度)	(仮)「日常のエリア」における先導的モデル事業／ 郊外部における身近な拠点づくり支援事業／ 市営コミュニティバス運行事業／自動運転実証事業／ AIオンデマンド交通システム事業／ 地域自主運行バスAIオンデマンドシステム実証事業
(4) 既存施設のマネジメント強化	・アクションプラン対象の公共施設のうち、機能を維持することとした施設や、廃止等の見直しが完了した施設 : 26件(令和5年度末)→145件(令和11年度末累計)	公共施設マネジメント推進事業／ 官民連携推進事業(再掲)／学校跡地活用事業(再掲)
(5) 連携中枢都市圏の連携強化	・圏域の総人口 : 493,562人(令和2年度)→460,000人程度(令和11年度)	富山広域連携中枢都市圏連携事業
(6) 歩きたくなるまちづくりの推進(再掲)		
(7) 公民連携による地域経営と新たなビジネス機会の創出【重点】(再掲)		